**ICTを利用した農村企業連携と農村福祉に関する業務委託仕様書**

**１．目的**

　本事業の舞台となる多気町勢和地域では、これまで培ってきた農村コミュニティーにより、約２００年前に完成した立梅用水の管理や地域の農産物の６次産業化に取り組むとともに、少子高齢化や人口減少が引き起こす課題を解決してきた。今、この農村コミュニティーを若い世代へ継承することが重要であり、若い世代が地域に残る（定住）うえで、自立的・継続的な仕組みづくりが大きな課題となっている。本事業では「農村企業連携」と「農村福祉事業」により、農村コミュニティーを若い世代へ継承し、地域の定住と持続的な農村環境を実現するモデルの構築を目指す。

　「農村企業連携」では、デジタルサイネージ等のICTを活用し、企業の皆さんが地域に現存する農業・農村資源の魅力と課題を共有すべく情報を発信し、企業研修の一環として楽しく来訪出来る関係性の

構築を目指す。「農村福祉事業」では、若者を中心とした地域の定住を促進するために、再生可能エネルギーを活用した電気自動車による、獣害パトロール、老人・子供の見守り。又、地域住民といっしょになって豪雨災害やため池防災といった生活に密接に関わる課題を解決し、農村に安心して暮せる生活サービスの利便性の向上と効率化を図るため、ICTと再生可能エネルギーの活用を検討実践するものである。

**２．発注者**

　勢和はぐくみ協議会

**３．業務箇所**

　三重県多気郡多気町勢和地域

**４．工期**

　契約日～令和2年2月28日

**５．業務内容**

**５－１．農村企業連携**

（１）研修プログラム検討（※活動計画策定事業）

①プログラム検討

　農村企業連携のコンテンツとなる研修プログラムの検討を行う。（社）ふるさと屋で実施している研修プログラムを参考に、連携先企業が本地域へ滞在できる内容とする。

②連携先企業の選定

　農村企業連携先となる企業の候補を挙げ、選定する。企業の業種、企業数等は問わない。

（２）デジタルサイネージ検討（※人材活用事業）

①デジタルサイネージの比較検討

　連携先の企業に設置するためのデジタルサイネージ本体機種について比較検討を行う。検討に当たっては、デジタルサイネージの更新方法やシステム等を含む。なお、デジタルサイネージの発注等は勢和はぐくみ協議会が行うものである。

　②デジタルサイネージのシステム検討

　デジタルサイネージの表示画面や更新方法等のシステムについて検討を行う。更新方法は基本的にはインターネット経由で行うものとする。

**５－２．農村福祉事業**

（１）見守りパトロール検討（※活動計画策定事業）

　超小型モビリティを利用した見守りパトロールの方法について検討を行う。また、パトロールの実施状況を反映できるデータ整備についても検討を行う。

（２）情報配信方法の検討（※人材活用事業）

　農村福祉に関わる事項（獣害GIS、防災GIS、見守りパトロール）の情報配信方法について検討を行う。

**６．発注形式**

　本業務については、公募型企画競争とする。参加企業は提案書（Ａ４サイズ片面　5枚以内　任意様式）を提出するものとする。事務局内での書類審査を行い、採択結果については改めて連絡をする。なお、採択結果に対する問い合わせは対応しないものとする。

**７．数量**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 数量 | 単位 |
| 活動計画策定業務 |  |  |  |  |
|  | 農村企業連携 | 企業研修プログラム検討 | １ | 式 |
|  | 農村福祉事業 | 見守りパトロール検討 | １ | 式 |
| 人材活用事業 |  |  |  |  |
|  | 農村企業連携 | デジタルサイネージのシステム検討 | １ | 式 |
|  | 農村福祉事業 | 情報配信方法の検討 | １ | 式 |

**８．公募に関するお問い合わせ**

　本補助金の公募に関する問い合わせにつきましては、以下の要領で受付いたします。

　公募の内容に関して質問のある方は、質問票に必要事項と内容を記入し、メール本文に添付し、下記アドレスまでお送り下さい。

　メールの題名は以下の通りとして下さい。

　　・ICTを利用した農村福祉と農村企業連携業務質問票（会社名）

　なお、公募質問票受付については、業務の都合上以下の期間に限らせて頂きます。

　　・公募質問票受付期間：令和元年度6月10日(月)から6月14日(金)